

今週（6月8日から6月12日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物については引き続き資金調達ニーズが堅調に見られ、出合いレートの水準は、0.727～0.728%程度で安定的に推移した。

ターム物に関しては先週に引き続き証券業態がレートを切り上げる動きがみられた。2M物は1.1%程度、3M物で1.15%程度での引き合いが散見された。4M物以上の引き合いは資金の出し手が消極的であるため閑散となった。

日銀当座預金残高については、8日(月)に437兆円台からスタートした。10日(水)には財政資金の揚げを主因に436兆円台に減少した。11日(木)も国債発行等の要因により434兆円台に減少したものの、12日(金)には財政資金の払いが見込まれ、437兆円台での着地予想となっている。

●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、0.75～0.76%での取引となった。業者からのオファーが多く、週を通して小さく推移した。ターム物は、6月末越えのニーズも両サイド共にあまり活発化せず、閑散気味の状態が続いた。

SCについては、カレント近辺の銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

短国市場は、6Mゾーンが軟調に推移した。

9日(火)に実施された6M物入札は無難な結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

12日(金)に実施された3M物入札は無難な結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

CP市場は、石油、鉄鋼、小売等複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は6月に入り25兆円台前半で推移していたが、今週は緩やかな減少傾向で推移し6月11日時点で24兆円台となった。

発行レートは、15-16日の金融政策決定会合での利上げがほぼ織り込まれ、7月償還物については1%を超えるレート水準での出合いが中心となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/8 (月)	64,024.60	2.715	160.35	0.727	0.754	4,375,900
6/9 (火)	65,416.63	2.665	160.27	0.727	0.754	4,376,200
6/10 (水)	64,179.27	2.680	160.42	0.727	0.754	4,364,900
6/11 (木)	64,217.27	2.680	160.54	0.727	0.753	4,348,800
6/12 (金)	66,020.04	2.635	160.17	0.727	0.755	4,375,000

翌週（6月15日から6月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/15 (月)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00~) 4月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				5月の米鉱工業生産・設備稼働率
6/16 (火)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)				米FOMC(1日目) 5月の米住宅着工件数
6/17 (水)	4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月の貿易統計(財務省 8:50) 4月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)				米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 5月の米小売売上高 4月の米企業在庫 5月のユーロ圏消費者物価指数改定値 5月の英消費者物価指数
6/18 (木)		TDB1Y物 6/22発行 28,000億円			英中銀MPC
6/19 (金)	5月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 金融政策決定会合議事要旨(4月27、28日分 8:50)	TDB3M物 6/22発行 41,000億円	流動性供給 6/22発行 6,500億円		New York祝日(Juneteenth National Independence Day)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/15 (月) 日銀予想	400	78,000	78,400	国債補充供給 社債等買入	2,900 ▲ 200		2,700	81,100	TB3M発行▲41,000 償還47,000 個人向け発行▲7,272 償還500
6/16 (火) 弊社予想	400	4,000	4,400				0	4,400	
6/17 (水) 弊社予想	200	4,500	4,700				0	4,700	
6/18 (木) 弊社予想	100	4,500	4,600	貸出増加支援	▲ 70,188		▲ 70,188	▲ 65,588	
6/19 (金) 弊社予想	700	3,600	4,300	貸出増加支援	▲ 46,265		▲ 46,265	▲ 41,965	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な調達ニーズが見込まれ、0.727%近辺での出合いが予想されるが、金融政策決定会合において追加利上げが決定された際にはレートの上昇が想定される。債券レポ GC T/N物のレートは、6月15日は0.75~0.76%前後のレンジを予想する。政策金利変更が行われた場合、以降の取引は政策金利付近の水準まで上昇する可能性がある。短国市場は、18日(木)に1Y物、19日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、利上げ後のレート水準を含め動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では15-16日に日銀金融政策決定会合、15(月)に4月の第3次産業活動指数、17(水)に4月の機械受注統計、5月の貿易統計、4月の石油等消費動態統計、19(金)に5月の全国消費者物価指数、金融政策決定会合議事要旨(4月27、28日分)などが公表予定である。海外では15(月)に5月の米鉱工業生産・設備稼働率、16-17日にFOMC、16(火)に5月の米住宅着工件数、17(水)にFRB米経済見通し発表、5月の米小売売上高、4月の米企業在庫、5月のユーロ圏消費者物価指数改定値、5月の英消費者物価指数、18(木)に英中銀MPCなどが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。